

# 地籍調査による直接効果と間接効果

## 地籍調査による直接効果(一次的な効果)

公共事業用地の取得迅速化

災害発生後の境界復元

民間土地取引の円滑化  
(開発事業、個人間土地取引)

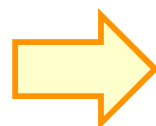
森林施行の早期着手

所有者不明土地の解消



## 地籍調査による間接効果(二次的な効果)

- ・災害発生後の測量コストが3割程度(試算値)削減できた。
- ・災害発生後の境界立会いにおける職員の立会い時間が200時間程度(試算値)縮減できた。
- ・梅雨・台風シーズン前に災害復旧工事を完了したことにより、二次被害を防止できた。
- ・公共事業区域内の土地の境界確認を行う際に、現地をよく把握していない遠隔地居住の相続人にも安心してすぐに確認してもらうことができた。
- ・森林GIS等の情報デジタル化が推進され、県内の森林クラウド導入に寄与した。
- ・森林の境界が明確化したことにより、地権者が山への興味を持ち、管理等に意欲的になった。
- ・明確になった座標値をシステムで一括管理し、市民へサービス提供することができるようになった。  
これに伴い、情報手数料収入が年々増加し、市の財源確保になった。
- ・地目や面積が適正化されたことにより、適正な税徴収を行うことができるようになった。
- ・所有者不明土地の解消により、劣化した塀の散乱や竹木の侵入など周辺環境への悪影響が解消された



用地取得の迅速化や境界復元、土地取引円滑化等の直接的な効果だけでなく、様々な間接的な効果も生み出すことができる。